



ライトアップされた幸橋を渡る福鉄電車 / 撮影・林博

ROBANNEWS

2008年も楽しい誌面をめざしてがんばります！

…編集スタッフ一同

活動報告

- 12月27日 自転車マップ部会
- 1月15日 第3回交通エコロジー教室実行委員会
- 1月16日 IRE・LRT研究会
- 1月18日 ROBA例会・理事会

今後の予定

- 1月23日(水) 第2回全国路面電車サミット実行委員会
- 2月中旬頃 福井市都市交通戦略協議会
- 2月15日(金) ROBA例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

鉄道珍名所三十六景関西編 所沢秀樹著 山海堂

1600円+税 ISBN4-381-10480-3 C2076

子供が生まれてから仕事以外の鉄道旅行は自粛中であるが、この本で、時間と空間を超えた鉄道旅行を満喫できた。鉄道駅や線路は、なぜ一見不合理な配置になっているのか、やはり歴史の偶然や民衆の競争のなせるわざ、線路改良をするほど需要増が見込めない現代、多くの不思議な光景は線路の廃止がないかぎり続いていくことになるであろう。ちなみに関東編もあるので、あわせてお読みください。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

福鉄若手 / ROBA 勉強会・意見交換会より

去る12月8日、春山清水ビルの事務所において、福井鉄道の若手の社員、白崎さん・吉田さんのお二人を招き、勉強会・意見交換会を開催致しました。

きっかけは10月31日に鯖江で開催された連合福井主催の福井鉄道福武線活用の勉強会で、白崎さんが私たちに声をかけてきたことでした。経営改善の意欲に満ちた白崎さんの言葉に押され、このたびの勉強会・意見交換会開催となりました。

福井鉄道の若手社員の皆さんは非番の日に自主的に駅舎にペンキを塗るなど、積極的に、福井鉄道を何とか良い会社になりたいからROBAの知恵を借りたい、と言っておられたのですが、勉強会・意見交換会でも前向きな姿勢が印象的でした。

映画電車の開催を福井市中心部の映画館に持ちかけて断られたことや、ベルとのパーク&ライドの交渉の経緯などを聞くと同時に、県の「地域が一体で鉄道を支える」状態をつくりたいという存廃議論の真意、県が電車・バス共用レーンを企画した意図など、情報交換をしました。そのほか、運賃のあり方、ダイヤのあり方、バス連絡のあり方、新駅設置などの意見交換をしましたが、白崎さんと吉田さんからの、水落駅・浅水駅のパーク&ライド駐車場がほぼ満杯という話から、さらなるパーク&ライド駐車場設置の話に及んだり、運転士養成に伴う運転士不足期間のシャトル便乗り継ぎで、田原町駅で切符を販売できないか、という話をしたりなど、さまざまな議論を行いました。

その後、会場を市役所前「福井源」に移して遅くまで歓談しました。今後もメンバーを増やして定期的開催していきましょうという約束をしています。白崎さんの「ROBAの皆さんに声をかけてよかった」という言葉が印象的でした。 清水省吾

<田原町シャトル便について>

ダイヤ改正、先日の福鉄運転士さんとの会合でも話題になりました。今後の多便化に備え運転士を4名増やすそうです。その養成期間は運転士1名が指導者に取られるために運転士のやりくりがつかず、仕方なくのダイヤ改訂だそうです。シャトル便化が減便の影響が最も少ないと判断されたのでしょうか。養成が順調に進み早期に元のダイヤあるいはシャトル3便化に再改訂されると良いですね。

発表された「お知らせ」ではどう変わるのか良くわからない。早急に新ダイヤを駅に貼って利用者の不安を解消した方が良いのではという当方のリクエストに答えてくれたようですね。先週末の段階では社内でも乗継チケットのやり方が決まっていなかったようです。こちらの案内も望まれるところです。 佐藤弘之

..... <速報> 全国路面電車サミット2008福井大会

10月17日(金)18日(土)19日(日)に開催決定!

.....とりあえず日程のみ.....手帳にメモしておくこと!

のりのりマップ第5版発行 2007年12月 マップ部会：林 博

ひっでえべりな福井のバス電車マップ「ふくいのりのりマップ」の第5版が12月発行。

今回の主な改訂内容

- ・表紙の基本色が紫色になりました（初版：黄色、2版：緑、3版：オレンジ、4版：ピンク）



・ROBA認定優良バス停の紹介が、『バスの駅』といってもいいような、快適で、いろいろな楽しみができる、使いやすいバス停を紹介しています。

（すかつとランド九頭竜バス停）屋根、ベンチはもちろん、足湯付です。乗合タクシー・施設専用バス停の写真ですが、路線バスのバス停からも見えます。早めに行きたくになりますね。

（ベル北側バス停）屋根、ベンチ、自転車置き場付、待ち時間には買物を。ベル北の入口には時刻表の掲示がありますが、バス停の案内もあるともったいいですね。冬は「ひとかき運動」のスコップも。



ROBAバス停調査で気づいた快適なバス停に基準を設け、R・O・B・Aに当てはめて、優良バス停として認定しました。「バスの駅」といってもいいような、快適で、いろいろな楽しみができる、使いやすいバス停を紹介します。

屋根、ベンチはもちろん、足湯付です。早めに行きたくになりますね。（すかつとランド九頭竜）

屋根、ベンチ、自転車置き場付、待ち時間には買物を。冬は「ひとかき運動」のスコップも。（ベル）

・敦賀市街地の路線図をこれまでの4万分の1から3万分の1に拡大しました。日向線等が廃線になって、スペースが空いたために配置を工夫して、空きスペースを有効に活用しました。

当初は、越前市と鯖江市の市街地といっしょに2万分の1に拡大することを検討していましたが、今回は間に合わなかったため、次回以降の改訂に譲りたいと思います。

・また、かねてから要請が多かった外国語版について、今回の改訂に加えられないかという意見がありました。しかし、表記の方法でまだまだ課題が多く、試作版を作りながらWEB上で公開していくなどの方が良いのではないかと考え、今回は見送りました。つまり表記方法の課題とは、日本語と外国語とを併記するには情報を少し減らさなければならず、何を省略するかを検討しなければならないこと、また、外国語に置き換えて単一語（たとえば英語）のみで表記するには、バス停などの現場でアルファベットあるいは外国語併記が進んでおらず、日本語しか表記してないバス停ではかえって不案内ではないかという意見もあり、関係市民団体の協力をもらいながらいくつかの表記方法を福井市版で作成し、利用者の意見を聞きながらすすめるのがよいのかなということです。

照ちゃんの気になる風景 part8



「あれはナンダ?」「宇宙基地?」「パチンコ店?」と巷では話題沸騰。正解は「森田配水塔」。森田、河合、川西の市内3地区約27000人の給水を目的に建設されました。

このデザインは2004年11月~12月にかけて開催された、3回のワークショップの中で決定され、畑みゆきさんと変集長も参加しました。

ワークショップの中では、「竜が昇ってゆくイメージの外壁に螺旋(らせん)階段を設置した螺旋美術館」「九頭竜川の天然記念物アラレガコの漁法をイメージした九頭竜川の塔」「繊維の福井、のこぎり屋根工場をイメージした太陽の塔」の案などがありました但最终的には「コシヒカリ発祥の地をイメージした、越の国に光り輝く」デザインに決まりました。この配水塔は北陸新幹線建設予定地区に隣接しており、金沢方面から福井県に入って来たときには、最初に目につく建築物となるでしょう。おそらく私は生きていないと思いますが・・・・。(そんなの関係ない?)

現在、福井市では「森田給水塔」の愛称を募集しています。締め切りは1月25日。詳細は市企業局給水課(0776-20-5640)。



作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「1月27日(日)えち鉄「勝山年の市ツアーは内容が濃い。サポーターは1500円ですぞ!だれか体験レポートお願い!」

塚谷(副編集長)

「三国サンセットビーチでサーファ-多数出沒」

内田(発行責任者)

「森田配水塔、お米に見えな~い!!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>